



2022年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社 ユニバンス
代表者名 代表取締役会長兼社長 鈴木 一和雄
(コード番号7254 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務執行役員 曾布川 守男
(TEL. 053-576-1311)

通期連結業績予想値と実績値との差異、特別損失（関係会社株式評価損）の計上 および剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2022年3月期連結累計期間（2021年4月1日～2022年3月31日）の決算において、2022年2月8日に公表しました業績予想と実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

併せて、特別損失を計上しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日2022年5月13日開催の取締役会において、下記のとおり、2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当につき、2022年6月24日に開催予定の第89回定時株主総会に付議することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期の通期連結業績予想値と実績との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 47,000	百万円 2,200	百万円 2,200	百万円 1,800	円 銭 86.41
今回実績（B）	49,061	3,036	3,285	2,835	136.11
増減額（B－A）	2,061	836	1,085	1,035	
増減率（%）	4.4	38.0	49.4	57.5	
（ご参考）前期実績 （2021年3月期）	46,249	△661	△253	△1,313	△63.08

<差異の理由>

第4四半期連結会計期間の売上につきましては、業績予想においてコロナウイルス変異株の感染拡大や半導体供給不足の影響等による減少を見込んでおりましたが、アジア拠点において北米市場向け四輪駆動装置を中心に販売が予想を上回ったため、売上高、営業利益ともに前回発表予想を上回ることとなりました。加えて、年度末に向かって為替が大幅に円安に推移し為替差益を計上したことにより、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も予想を上回りました。

2. 特別損失（単体）の計上について

当社連結子会社のユニバンスINC.（米国）について、当該子会社の財政状態及び経営成績を勘案した結果、2022年3月期の個別決算において、当該子会社に対する当社出資金に対して関係会社株式評価損2億75百万円を計上いたしました。

なお、上記の関係会社株式評価損につきましては、連結決算上相殺消去されるため連結財務諸表に与える影響はございません。

3. 配当の内容

期末配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年2月8日公表)	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2022年3月31日	同左	2021年3月31日
1株当たり配当金	円 銭 4.00	円 銭 3.00	円 銭 2.00
配当金総額	83百万円	—	41百万円
効力発生日	2022年6月27日	—	2021年6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

<理由>

当社は、継続的な安定配当を基本方針とし、経営上の最重要課題のひとつとして位置づけております。

2022年3月期の期末配当につきましては、上記の基本方針ならびに当期の業績や今後の財務状況などを総合的に勘案した結果、1株あたり3円から4円に増配といたします。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績	円 銭 3.00	円 銭 4.00	円 銭 7.00
前期実績 (2021年3月期)	0.00	2.00	2.00

以上